

各 位

会 社 名 株式会社アークン
 代表者名 代表取締役社長 蛭間 久季
 (コード番号：3927)
 問合せ先 取締役経営企画室長 佐藤 敏和
 (TEL. 03-5825-9340)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 12 日付の平成 28 年 3 月期決算短信にて開示しました平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 1,083	百万円 146	百万円 145	百万円 97	円銭 24.63
今回修正予想 (B)	736	△84	△84	△89	△22.62
増 減 額 (B - A)	△347	△230	△229	△186	—
増 減 率 (%)	△32.0	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	980	129	127	71	20.18

(注) 当社は、平成 28 年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、前期実績及び前回発表予想の 1 株当たり当期純利益を算出しております。

2. 修正の理由

このような通期業績予想となりましたのは、平成 29 年 3 月期において、下記の 2 つの要因が年間を通して業績に影響を及ぼすことが見込まれるためであります。

第一に、通信機器メーカー関連事業の進捗による影響がございます。

当社は、通信機器メーカーに対して、先方の自社製 UTM 製品（注 1）の組込み用ソフトウェアを提供しておりますが、当該通信機器メーカーが新製品の発売を控え、当該 UTM 製品の出荷及び生産を抑制しております。そのため、当社が提供するソフトウェアの売上が減少し、売上及び収益全体を減少させる要因となっております。

また、通信機器メーカーは販売代理店による製品の販売を展開しておりますが、当該通信機器メーカーの新製品発売後、売れ行きが予想を下回っていることも当社が提供するソフトウェアの売上が減少する要因となっております。

当社の売上及び収益全体は、通信機器メーカー関連事業に依存している割合が大きいことに加えて、当該事業の進捗は、下期において改善される見込みが薄いため、引き続き当社の売上及び収益全体に大きなマイナス影響を及ぼすと考えております。

第二に、Web データベースセキュリティ商品関連事業の進捗による影響がございます。

当社は、海外より Web データベースセキュリティ商品を輸入し、システムインテグレータ経由で販売しております。そのため、当社が提携しておりますシステムインテグレータが情報システム開発関連の案件を受注することが、当該商品の売上増加の必須条件となります。

しかしながら、当社が見込んでおりました数件の大型の情報システム開発案件が失注する結果となったため、Web データベースセキュリティ商品関連事業の売上が減少し、売上及び収益全体を減少させる要因となっております。

上記に挙げました2つの要因が、年間を通して影響を及ぼす可能性が高い状況を踏まえ、通期業績予想の修正を上記の通り公表するものであります。

なお、本年1月に発生しました情報漏洩事件により、大手通信機器販売事業者において、当社製品は新規販売取扱が一時停止となっておりますため、当社製品の取扱量が大幅に減少しました。

そのことによる影響は、当社の業績を低下させる根本的な要因ではありません。

しかしながら、今期の当初予算策定時において、事件の影響を考慮した予算を策定しており、現状では大手通信機器販売事業者関連の売上はほぼ予算通りに推移しておりますので、今回の通期業績予想の修正の主な要因ではないと認識しております。

(注1) UTM 製品とは、複数の異なるセキュリティ機能を一つのハードウェアに統合した製品であります。

(注2) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により、実際の業績が予想数値と異なる可能性があります。

以 上